

各界から祝辞



山谷えり子
参議院議員・元国務大臣・
(公財)日本武道館常任理事
事・(公財)合気会理事

世界が荒々しくなっている中で、お稽古のたびに、合気道の和の精神は争い合うものではなく、生かす、学び合い、結び合うものだということを、本心にの底深く感じながらお稽古をしております。

日々の稽古、演武の積み重ねによって育てられる心や体、魂のようなものを日々の生活に活かしていかねばならないと感じます。

奇跡の武道を編み出してくださった合気道開祖

まる列国議会同盟に参加を
してまいりました。
ギリシャの女性の国会議員
から、「私はいつも合気道
をやっている、日本には
何度も行ったことがある」と
親しく声をかけていただき
ました。合気道の国際的
な広がりを感じた瞬間で
ございました。

日本が誇る合気道の益々
の発展、そして本日の大
会が素晴らしいものとなり
ますよう祈念申し上げます
て、ご挨拶とさせていただきます。

朝日健太郎 参議院議員
ここ日本武道館に、1方
人を超える皆様とともに、
合気道の精神に満ち溢れた
素晴らしい空気を今感じて
おります。「ウェルビー
ング」という考え方があり
ます。体を動かしたり、人



山田美樹 参議院議員
私自身、学生時代、合気
道を学ばせていただいたこ
とがござります。合気道は
順位をつけて争うことがあ
りません。最近では、世界
183か国の国会議員が集

けでなく、その敵対するこ
ころの精神を相手自ら喜ん
で、なくせしめるようにな
さねばならぬ。和合のため
にするのが真の和合であっ
て、地上に現れたものと、
その精神とが一如となって
和合するように日々稽古を

大会に向けて、日々鍛錬
を積み重ね、本日を迎えら
れた演武者の皆様、その成
果を十分に発揮していただ
き、お一人お一人のウェル
ビーイングを高め、そん

全日本連盟役員会 創立50周年祝賀会



祝賀会で挨拶する植芝道主

令和8年度第1回理事会
・定時評議員会は5月22日
に日本教育会館にて行われ
た。また、全日本合気道連
盟は昭和51年5月29日に設
立され、今年で50周年を迎
えることから創立50周年記念

祝賀会も開催された。
14時から行われた理事会
では、宮本鶴蔵理事長が議
長となり、令和7年度の事
業報告および会計報告、監
査報告が行われ、承認可決
された。その後、令和8年

な1日になってほしいと願
っております。合気道の和
の仲間、そして皆様の益々
の発展を祈念申し上げます
して、お祝いの言葉といた
します。

度事業計画案、および同年
度予算案について審議さ
れ、承認可決された。

15時半から道主、ならび
に植芝充央本部長をお
迎えして定時評議員会が行
われた。会に先立ち、道主
より「皆様方のお力により、
合気道は北海道から沖縄ま
で非常に素晴らしい形で歩
んできていると思います。

これからの普及振興に邁進
していただければと思いま
す」とご挨拶があった。

続いて、宮本理事長が議
長となり、令和7年度事業
結果と会計報告、更に令和
8年度事業計画、および同
年度予算案が各担当常任理
事より報告された。すべて
の事業について評議員の承
認を得た。

17時より全日本合気道連
盟創立50周年記念祝賀会が
行われた。はじめに宮本理
事長より「道主、植芝充央
道場長ご臨席のもと、全国
各地から多くの役員の方々
、会員の皆様にご出席いた
だき、全日本合気道連盟
50周年記念祝賀会を開催で
きることに感謝申し上げます

す。開祖が創始された合気
道を国内はもとより世界中
に普及発展振興されました
植芝吉洋丸二代道主に深い
敬意と心からの感謝を申し
上げます。今現在私達が
日々稽古できることは現道
主はじめ道場長のお力添え
のおかげだと思っております。

私
たちはこの連盟を次の世代
に正しく伝えることが大事
であり、義務であると思っ
ております。そのためには
皆様の支援と協力が非常に
大事だと思っております」と
ご挨拶があった。続いて道
主より「全日本合気道連盟
創立50周年記念本会におめ
どうござります。初代若

田一空斎師範から宮本師範
まで歴代の理事長を中心に
しっかりと形を歩んで
こられたことは大変素晴らしい
ことだと思っております」と
祝辞が述べられた。その後
岡本洋子国際合気道連盟
(IAF)理事長より祝辞
が述べられた。

続いて全日本合気道連盟
創立50周年を記念して、宮
本理事長より道主へ記念品
の贈呈が行われた後、菅沼
守人師範による発声で乾杯
が行われた。祝賀会には約
90名が出席し、会場は節目
を祝う和やかなひとときと
なった。最後に創立50周年
記念実行委員長である尾崎
响全日本合気道連盟相談役
による挨拶で閉会した。

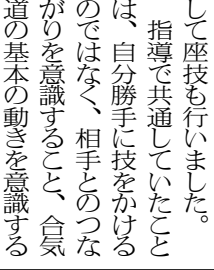
講師には中村仁本師範
場指導部指導員をお迎え
し、間に休憩を挟み形で2
時間の稽古を行いました。
前段は腰を入れてバランス
をとる感覚、手足・腰と肩
が一緒に動く感覚、腰を入
れて相手の力をしっかりと
受け止める感覚を意識した
稽古から始まり、すみ落と
し、天地投げ、入身投げ、
小手返し、呼吸投げと投げ
技を稽古していきました。

後半では押さえ技を中心
に、相手とのつながりをし
っかりと意識しながら正面
打ち一教、肩取り二教、そ
して座技も行いました。

指導で共通していたこと
は、自分勝手に技をかける
のではなく、相手とのつな
がりを意識すること、合気
道の基本の動きを意識する
ものでした。普段学校で教
わっていることは異なり
戸惑う高校生もいたかもし
れませんが、学校によって
さまざまな合気道の表し方
があることを知ることは生
徒たちにとってはとても良
い経験になったかと思いま
す。

こうした講習会は、高校
生同士が交流し親睦を深め
ていくことも大きな目的の
一つとなっています。次年
度も引き続き実施していき
たいと考えています。(藤
川建 富士見中学校高等学
校合気道部顧問)

豊田道場講習会
栗林師範を中心に



栗林師範を中心に

初日は県内を中心に遠方
からは東京、兵庫、大阪、
奈良、和歌山等の参加者
を含め約100有余名の参加者
は熱気溢れる稽古を行いま
した。

師範は力まず身体を伸び
やかに動かすこと、相手も
自分も細かく観察すること
の大切さを肩取り、片手取
りなどの技で示されまし
た。

2日目は弊会会員、有志
の道友等約50名が参加して
稽古会を行いました。
師範自ら参加者の受けを
取ってくださり、投げのま
での過程の中で受身の重要
性について説かれました。
(育成会事務局 岡田智
子)

各国大使からメッセージ

第63回全日本合気道演
武大会の開催にあたり各
国の駐日大使をご招待申
し上げたところ、15か国
の大使館から特命全権大
使、臨時代理大使等、代
表の方がお見えになっ
た。その内、数名の方が
からお話を伺った。

モルディブ次期大使A
・マフルーフ閣下は他の
武道をご存じであった
が、合気道は本演武大会
で初めてご覧になられた
とのこと。好感を持たれ
たようであり「ぜひモル
ディブでも合気道を普及

してほしい」とおっしゃ
った。
2024年の第61回全
日本合気道演武大会から
3年連続でご臨席され
トルクメニスタン特命全
権大使A・バイフ閣下
は、道主から挨拶を受
けられた際「毎年来ます」と
満面の笑顔で述べられ
た。

エジプト特命全権大使
R・エルエトレハ閣下は
エジプトからの演武出場
者に会われ、非常に喜ん
でおられる様子であっ
た。閣下は奥様と共にご

臨席され、お三方ともぜ
ひ合気道を体験してみたい
いと述べられた。同様
に合気道への興味を示さ
れたのは、トルコ特命全
権大使O・エルトゥール
閣下であった。

合気道の稽古および演
武の構成に興味を持たれ
たオーストラリア特命全
権大使S・ベルカ閣下から
は「この演武大会は、と
てもよく企画・運営され
ていて、その成果が見え
ました」とお褒めの言葉
をいただいた。過去に合
気道の経験があるベルカ
閣下は「合気道は、心と
体の両方を鍛える素晴らしい
スポーツだ」とお褒めの言葉
をいただいた。過去に合
気道の経験があるベルカ
閣下は「合気道は、心と
体の両方を鍛える素晴らしい
スポーツだ」とお褒めの言葉
をいただいた。



開祖の三百年

手こつて導く

場所を見出
して業をか
ける。この
隙を見出す
のが合気の
道である。
真の合気
の道は、相
手を倒すだ
けでなく、
その敵対す
るところの
精神を相手
自ら喜んで
なくせしめ
るようにな
さねばなら
ぬ。和合の
ためにする
のが真の和
合であって
、地上に現
れたものと
、その精神
とが一如と
なって和合
するように
日々稽古を

に振りかぶって切りかか
つてくる時には、肩そのもの
の精神で相手の剣を誘い、
右足同時に進めて制すか、
左足を引いて倒す。
相手が肩をつかめば、こ
れと同時に相手の面を打っ
て、左足を一歩進め、相手
の右拳をつかんで前にねじ
倒すべし。これは、すべて
心の動きでなす。心を体に
画きだすのであるから、す
べての心の通りにゆくと、
体を練ることは実は心を練
ることなのである。相手の方
をつかんでひくにも、この
心をもってなすから相手

も、それに乗って肩をつく
すなわち技は心の表現なの
である。
相手の心中に肩を引こう
という心が起こった時に
は、すでに前もって、その
心が当方に分かることが肝
要である。また自分の肩を
相手にとらさず導くのも
一つの技で、これが分かっ
たならば、相手を倒すのは
容易である。しかしこれは
心で分かるだけでは、何に
もならぬ。この道理を体の
上に分かり実現しなければ
ならぬ。それがすなわち技
の稽古である。
(昭和39年4月号)



植芝充央 本部道場長



植芝守央 合気道道主

第63回
全日本合気道
演武大会



窪田育弘 奈良合気会師範



菅沼守人 合気道祥平塾道場長



小林保雄 合気道小林道場総師範



木村二郎 合気道大阪武育会会長



稲垣繁貴 茨城支部道場指導部師範



安野正敏 本部道場指導部師範



五十嵐和男 合気道五十嵐道場道場長



横田愛明 本部道場指導部師範



鳥海幸一 本部道場指導部師範



日高浩 岩手山麓誠風館館長



石原克博 石芯塾主席師範



畑山憲吾 合気道研究会代表

第63回 全日本合気道演武大会



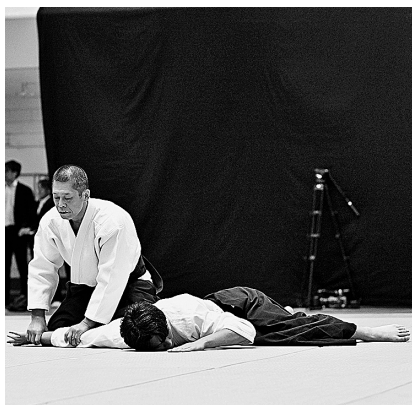
小林幸光 本部道場指導部師範



菅原繁 本部道場指導部師範



追分拓哉 合気道福島武道館館長



入江嘉信 本部道場指導部師範



藤巻宏 本部道場指導部師範



金澤威 本部道場指導部師範



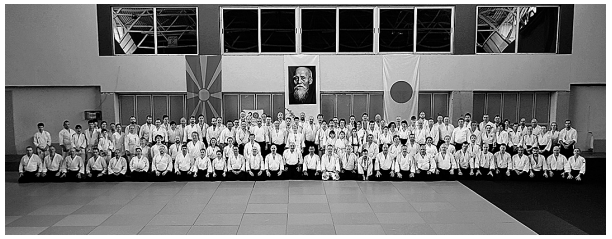
栗林孝典 本部道場指導部師範

マケドニア20周年
私(伊藤)は、4月19日から4月23日まで、マケドニア合気道連盟の20周年行事に招かれ、首都スコピエで講習会指導を行った。羽田を木曜の夜に出発し、イスタンブール経由でスコピエ到着は翌日の朝9時、連盟代表のタミヤン氏の出迎えを受けた。早朝のスコピエは、遠くに雪山を望み、美しい川を挟んで緑豊かな山間都市である。連盟はスイス在住のクアラシタ師範の指導を受けながら成長し、今年20周年を迎えた。土日の講習には、セルビア、ギリシャ、ブルガリア、ポーランド、オラ



会員と交流する入江師範

アイルランド春期講習会
私(入江)は、4月9日から15日までアイルランド合気道連盟春期講習会で、キルデア県北部メイヌースを訪れた。昨年3月で連盟活動の中心であったタプリンの合気道センターが閉鎖となり今年には開催が危ぶまれていた中での開催となった。ショーン・マクルーリ会長から



伊藤師範を中心に

ンタなどから併せて150名が参加し、クアラシタ師範と私が稽古指導を担当した。

マクルーリ会長はじめ古参・新規の会員が力を合わせて支えあつての日々の活動、そして今回の講習会開催である。微力ではあるがこれからも応援したい。マクルーリ会長の表情が昨年より明るかったので安堵した。再会を期して、タプリン空港で別れを告げた。(本部道場指導部師範 入江嘉信)

開催予定の報を受け、なんとしても応援をと思い馳せ参じた。今回の会場はキルデア県北部メイヌースにある国立アイルランド大学メイヌース校。会場にはアイルランド合気道連盟所属会員はじめ英国・ブルガリア・スペイン・オランダ・ベルギー・日本からいつもの顔触れが参集し交流稽古を行った。マクルーリ会長はじめ古参・新規の会員が力を合わせて支えあつての日々の活動、そして今回の講習会開催である。微力ではあるがこれからも応援したい。マクルーリ会長の表情が昨年より明るかったので安堵した。再会を期して、タプリン空港で別れを告げた。(本部道場指導部師範 伊藤真)

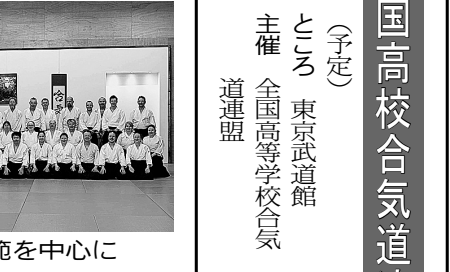
日曜日に開催された記念演武会には、河原節子駐北マケドニア大使が臨席され、開会にあたって祝辞を述べられた。演武会終了後、会場隣のホテルルームにて記念祝賀会が開催され、伝統舞踊も披露され、大いに交流を深めた。20周年を機に、大きな飛躍が期待される。(本部道場指導部師範 伊藤真)

オランダ講習会
私(佐々木)は、4月9日から13日までオランダ王国のパペンドレヒトに滞在し、Curtnele Aikido Bond Nederland(以下CAABN)主催の講習会で稽古と昇段審査を行った。講習会は10日から12日までの3日間ドレヒトにある和楽道場で行われ、CAABN傘下の6道場から一般部と少年部を合わせ、延べ約120名が参加した。道場のスペースに制限があり、各時間60名程度の参加者数に抑えての稽古であったが、皆、明るく活気に満ちた雰囲気の中とても楽しそうに稽古を行っていた。現在CAABNは会員の半数以上が10代後半から30代前半の若年層の会員で構成されている。14年前に私が初めてCAABNの講習会に訪れた際には構成会員の高齢化が著しく、団体を挙げて若年層の会員の獲得と増員を目標に掲げて若年世代

の入会者達に寄り添いながら多様な取り組みを行って来たが、その成果が着実に表れて来ていると言えるだろう。今回の講習会でも若年層の会員が数多く参加していた。12日には昇段審査も行われ、初段を2名、二段を7名、参段を1名が受験し、全員が活気に満ちた動きを見せ、無事に合格とした。今回もCAABNの将来に亘る発展に向けて明るい材料を見出す事の出来た充実した講習会となった。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

米ワシントンD.C. 聖武館桜セミナー
私(日野)は、4月8日から14日まで行われた聖武館道場桜セミナーの為に、ワシントンD.C.に渡米した。9日は聖武館道場の通常稽古で1時間半の稽古を行い、約50名が参加。10日から12日まで、Aikido School of Ueshiba (ASU)の五月女貞師範と1時間から1時間半の稽古を合計7回

の会者達に寄り添いながら多様な取り組みを行って来たが、その成果が着実に表れて来ていると言えるだろう。今回の講習会でも若年層の会員が数多く参加していた。12日には昇段審査も行われ、初段を2名、二段を7名、参段を1名が受験し、全員が活気に満ちた動きを見せ、無事に合格とした。今回もCAABNの将来に亘る発展に向けて明るい材料を見出す事の出来た充実した講習会となった。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)



佐々木師範を中心に

行い、アメリカ各州とメキシコ、イタリヤ、フランスより約70名が参加した。基本の体捌きを中心に稽古を進めた。今回で3回目のセミナーとなったが、普段の稽古から基本の体捌きを意識している様子が伺えた。また10代、20代の参加が若干ではあるが増えている印象を持った。今後はセミナー内で少年部の稽古も行えれば、更なる発展が見込めると感じた。(本部道場指導部師範 日野皓正)

「維持会員」へのおさそい
日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。公益財団法人合気会は、開祖植芝盛平翁の創始した合気道の承継を支援し、合気道による心身の錬成と合気道の普及振興を図り、もって体育の発展に寄与することを目的とし、公益事業を行っています。これからも、その目的を達成するための合気道の一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。つきましては賛同頂き、ご後援、ご援助を賜ることができましたら幸甚でございます。なにとぞご高配のほどお願い申し上げます。

記

1、会員種別
(1) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
(2) 特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
2、維持会員の特典
(1) 合気会で主催する演武大会等の行事にご招待を申し上げます。
(2) 合気会で発行する合気道新聞、合気道探求などの出版物を贈呈いたします。
お申し込みは(公財)合気会事務局まで

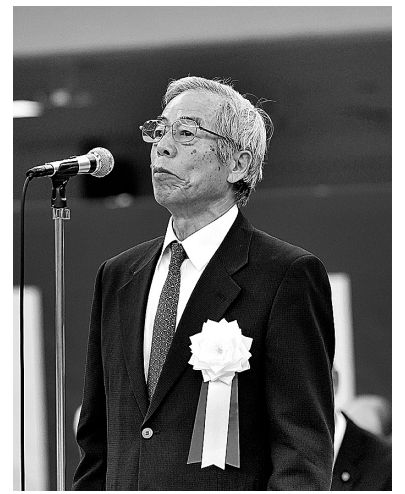
とき 8月7日(金) (予定)
午前11時半開場
午後12時半開会
午後3時半閉会
ところ 東京武道館
主催 全国高等学校合気道連盟
演武 加盟校演武
植芝充央本部道場長
模範演武



日野師範による指導



閉会の辞を述べる林常務理事



開会の辞を述べる可児理事



花束を受ける道主



本部一般で植芝本部道場長の指導



救護・介護班の方々



全日本合気道演武
令和8年5月23日(土) 開場:午前11時
NHK・公益財団法人日本武道館・日刊スポーツホールディングス

第63回 全日本合気道演武大
日時:令和8年5月23日(土) 開場:午前11時
主催:公益財団法人合気会 後援:スポーツ庁・東京都・NHK・公益財団法人日本武道館・日刊スポーツホールディングス 協力:全日本合気道連盟・全国学生合気道連盟

各道場の昇段者

令和8年4月15日～
5月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆本部道場＝熊谷功、ニューマン珠世、山田博樹、橋本智行◆西馬込合気道会＝山本未来◆合気道西大和会＝横田尚弘◆源氣会＝高橋一明◆合気道藤流館＝加藤勝幸◆キャンプ座間＝E.Lampkin◆一宮合気会＝加藤寛隆◆吉照塾＝藤平寧◆江東区合気会＝藤原光巖、鎌刈雄◆荒川合気会＝辻文次、坂詰和紀◆市原合気会＝八月朔日芳徳◆春水道場＝古川文良◆小林道場＝小野修司◆合気道石苾塾＝勝田早苗◆祥平塾＝菊川聡嗣、西口貴志◆城東誠和会＝楠瀬隆史◆西川口合気道クラブ＝福川弘◆大阪合気塾＝角田浩孝◆大阪武育会＝田中徹、吉川美津子、岡本昭人◆大田区合気道会＝郭舜◆天之武産合気塾＝鮎村尚起◆天白道場＝伊藤日出夫◆奈良合気会＝西村英樹◆武産合気誠流会＝須崎和義◆央名会藤巻道場＝加藤敏之◆合気道れいめい会＝岡安景悟◆合気道志正館＝藤原誠二◆合気道桃林道場＝二谷厚子◆武産合気たまも道場＝渡辺至◆SPAIN＝J.Contreras, J.Ripoll, J.Rufo, S.Gonzalez, J.Bueno◆U.S.A.＝A.Martins, J.Sharp, T.Gordon, F.Kirstein◆GERMANY＝T.Haraszti, A.Gvirtz◆ITALY＝M.Zoete, A.Stradi◆ARGENTINA＝G.Cassia, A.Cabrera, E.Vega, A.Larco, K.Leblic, S.Meda, D.Ubeda, R.Urriza, J.Peralta, C.Bustos◆AUSTRIA＝S.Berger, J.Lauber◆TURKEY＝N.Zeynalov, E.Bakiskan◆NORWAY＝T.Pedersen◆AUSTRALIA＝G.Hadden◆BRAZIL＝N.Castro, M.Silva, B.Gouveia, A.Diniz, G.Silveira◆CZECH＝T.Dubovsky◆RUSSIA＝A.Borisov, V.Romanov, L.Yudin, A.Goloub◆U.K.＝R.Kidd, A.Brown, J.Yee◆PERU＝F.Matamala, L.Otiniano◆UKRAINE＝A.Maliuk【参段】◆本部道場＝佐藤齊華、早川泰◆西馬込合気道会＝高畑久泰、稲永哲二◆厚木合気道クラブ＝原田颯大◆源氣会＝船山裕幸◆合気道凱風館＝坂東克則◆キャンプ座間＝渡邊研吾◆合気道武徳道場＝藤崎恵◆荒川合気会＝鈴木真紀子◆尚武館＝古庄勉◆合気道石苾塾＝玉田亮宏◆祥平塾＝園本聖良, M.Wober, V.Griem, J.Kassem◆城東誠和会＝日下知◆相生会神戸三田道場＝内田光、佐々木善英◆大阪武育会＝平田遊樹、阿形昌宏◆八起会＝小宮治朗◆武栄会＝菊池啓太◆防衛省合気道連合会＝宮下伸太郎◆合気道清水塾＝水上奈津子、山口和也◆清心館道場＝長谷圭二◆美陵会＝西川幸伸◆合気道れいめい会＝中込亜友美、小山美幸◆相生会合気道尼崎道場＝内山琴美◆明石合気道同好会＝別府影智、山口浩之◆合気道神楽塾＝佐藤太栄◆伊丹市民合気道＝辰巳浩之◆茶友会＝神坂舞◆U.S.A.＝W.Nutini, K.Watts, L.White, A.Laurent, S.Reidbord, J.Moncada, E.Kubanychbekov, A.Kern, S.Piscitelli, Z.Dlesk, A.Casi, M.Jacob, W.Sandoval, 江幡篤◆CHILE＝L.Flores◆GERMANY＝M.Retterath, R.Santl, S.Egert, M.Bussmeier, S.Hengst, E.Pfizinger, A.Funtikova◆ITALY＝E.Tosi, C.Siena, C.Viale, L.Pinna◆PORTUGAL＝F.Batista◆SWEDEN＝S.Jansson◆BULGARIA＝Y.Haralampiev◆ARGENTINA＝O.Peralta, C.Rodriguez, T.Marlow, J.Dominguez, E.Muros, G.Martinez, O.Silvero, C.Latorre, E.Cuervo, J.Neves, S.Schvezov, G.Aguirre, A.Sanchez, F.Ruiz◆AZERBAIJAN＝A.Ibishov, A.Nasirov◆FRANCE＝L.Bernabe, C.Hourteillan, G.Salmon, C.Rubio◆NETHERLANDS＝P.Baaijens, E.

Fransen, R.Kat, W.Dewez, G.Cuperus, B.Borger, V.Fluit, W.Meijer◆MALAYSIA＝V.Lim◆SPAIN＝A.Urbon, A.Vellon◆BRAZIL＝F.Watanabe, C.Santos◆GREECE＝I.Koutsourelakis◆VIETNAM＝A.Vo◆SWITZERLAND＝L.Champagnac◆POLAND＝R.Jurkowski◆RUSSIA＝A.Moskvin, S.Zayrulin◆DENMARK＝T.Nielsen

【武段】

◆本部道場＝大岡正憲, R.Arrocha◆青森道場＝奈良美代子◆芦屋合気会＝濱谷恵、野崎志帆◆合気道凱風館＝西岡聖治、松本順子、朝倉民枝、西田友紀, K.Osterwalder◆合気道奥州道場＝遠藤菜奈◆吉照塾＝伊藤勝朗、貞岡辰夫、秋山昌廣◆江東区合気会＝藤村美典◆荒川合気会＝市川瑛士、嘉納章浩、筒井陽子◆高知県庁合気道部＝中村和志◆札幌国際合気会＝畑沢宣之◆春水道場＝ジェ・ピ・ターラカ・メシタ◆合気道石苾塾＝桑子雅行◆湘南翡翠合気道クラブ＝廣庭勇◆祥平塾＝園本惺強、満園耕平、福本修治◆相模和道会＝加藤悠◆大阪武育会＝木場勝哉、生駒真衣、中川あすか、仲田龍生、山崎大、藤井昇、田平朝海、野口貴嗣◆佐世保合気会＝古賀稔彦、吉居りえ◆天之武産合気塾＝宮元拓人、古川遥翔◆奈良合気会＝小林ななえ◆葉山町合気会＝田中聖人◆合気道清水塾＝小林真由莉、岩男弘子◆兵庫合気会＝網干慎太郎、杉谷慎一郎、古橋千鶴子◆くさなぎ道場＝荒川紘大◆合気道れいめい会＝中村幸生、袴田香◆荒川合気道同好会＝村岡敦◆合気道潮塾＝谷本百名◆相生会合気道尼崎道場＝藤谷博泰◆合気道清道館＝天野珠代◆合気道無刀会＝太田直治、鈴木哲矢◆お茶の水女子大学＝江本乙葉◆帝塚山大学＝伊藤一乃◆近畿大学医学部＝永井克裕◆関西学院大学体育会合気道部＝尼崎有俐恵◆千葉工業大学＝土屋昂三◆大阪大学体育会合気道部＝村上慶太郎、劉彦池◆明治大学体育会合気道部＝中村晃誠◆筑波大学＝T.Umidjon◆SPAIN＝A.Gimeno, A.Piella, A.Alonso, F.Garcia, G.Gonzalez, I.Sanchez, P.Munoz, F.Guijarro◆CHILE＝S.Rolle◆GERMANY＝C.Darmadi, D.Haas, C.Neuwirth, D.Schneider, V.Demachkovych, M.Demmler, B.Rott, K.Schmelter, 梅津真一郎, R.Boede, T.Kruse◆ITALY＝P.Sanguettoli, V.Ruffolo, S.Giacopuzzi, R.Castagnedi, N.Tosca, F.Perin, L.Dinoi◆PORTUGAL＝C.Mbungu, S.Madruga, I.Carvalho, B.Castro, P.Martins◆BULGARIA＝D.Stoyanova, S.Stefanov, N.Staynova◆U.S.A.＝K.Pham, K.Hardwick, J.Taylor, J.Calil, S.Mckelvey, B.Blancke, B.Thonb, J.Geyer, R.Jaiswal, B.Myers◆NETHERLANDS＝E.Thung, S.Stormbroek, J.Lucas, H.Cramer, B.Lucas, H.Dewez, J.Nieuwenboer, N.Tooren, C.Knoef, D.Gelden, C.Huiskamp, T.Hoppe◆MYANMAR＝W.Min, D.Ting, N.Eain◆AUSTRALIA＝L.Kwok◆BRAZIL＝V.Dieter, P.Caixeta, M.Oliveira, D.Batista, J.Baptista, D.Pessoa, A.Fuscaldo, L.Carvalho, S.Rodrigues, R.Souza, P.LacerdaJr., C.Santos, J.Boaventura◆GREECE＝D.Vallianatos◆IRELAND＝T.Suto◆FRANCE＝M.Kugler, B.Vatin◆KYRGYZ＝A.Ashimov◆URUGUAY＝R.Batista, A.Lena◆CZECH＝O.Teply, L.Jezek◆U.K.＝R.Nixon, A.Vidion◆RUSSIA＝A.Chego-dae, S.Malygina, E.Meshcherova, E.Kuznetsov, A.Mukhtov, A.Chumasov◆ARGENTINA＝C.Jara, M.Albelo, A.Isaac, D.Sivila,

D.Flores, A.Gonzalez, G.Galban, M.Prieto, M.Pecora, A.Hermida, H.Mancuso, P.Reche, M.Pereyra, M.Buccino, P.Lund, G.Centanaro, J.Paz, M.Lemus, F.Aguirre, E.Villanueva, F.Uribe, M.Ibarra, N.Benes, J.Girotti, P.Barera◆AZERBAIJAN＝A.Khalilov, E.Mammadov◆SERBIA＝M.Kurenkova◆UKRAINE＝V.Demianets, R.Bakaturo, S.Zelenko, D.Zhezhera

【初段】

◆本部道場＝佐藤圭一郎◆オホーツク中湧別道場＝澤口星斗◆西馬込合気道会＝嶋田次郎◆田中道場＝北沢篤、横畑友秀◆三澤塾＝保阪洋枝◆合気道西大和会＝田中璃音、高田知里、中垣遥翔◆秦野武産合気会＝長塩幸希◆合気道凱風館＝西野宏志、更谷重之◆合気道藤流館＝中川昂哉、辻克典、石川浩輔、小西由美子◆新郷合気会＝ブロン・ディラン◆吉照塾＝堀孝三、堂本蓮惺、堀宗介◆熊野塾＝P.Graham◆荒川合気会＝野村陽子◆合気道合心館＝大野恭子◆合気道桜道場＝小西紀子◆札幌国際合気会＝玉井義昭◆山口合気会徳山道場＝藤中駿◆市原合気会＝榎本瞬◆小田原合気会＝高井哲也◆小林道場＝立田美穂◆尚武館＝長崎浩一、井田侑里◆合気道石苾塾＝遠藤佳之、田沼倅祈、望月陸央、畑誉浩◆祥平塾＝伊藤優汰, H.Holtum, D.Marti, M.Valli, N.Yen, 田尼得トルソン, 山下文枝, 溝川和人, 角田裕章, 小林悠子◆城東誠和会＝伊東幸一郎◆合気道町田教室＝斎藤悦子◆杉並合気会＝野村すわこ、神岡健司◆西川口合気道クラブ＝田代希望◆倉敷合気道会＝森宗正義◆大宮道場＝児玉光彦◆大阪合気塾＝奥山広志◆大田区合気道会＝足立博之◆佐世保合気会＝楠田理緒菜◆天之武産合気塾＝高間仁菜、久次米桜保、小林新太、伊東菜菜、村井秀行、古川花帆◆奈良合気会＝大島学、根岸圭子、奥村昌倫、妙井翼、妙井柗太、飛松隆寛、満岡悠里◆朋清会＝福地ひとみ◆防衛省合気道連合会＝鶴味良潔◆千歳合気会＝橋爪拓士◆城北道会＝齋藤舜介◆明清会＝角田英俊、岡田啓子◆兵庫合気会＝木村奈津子、飯塚敏成、榎花怜、杉谷淳之介、弘瀬剛敏、森田幸浩、萩原博◆清心館道場＝前田理志◆美陵会＝上林弥生◆鷹の台合気道同好会＝宮本充◆合気道れいめい会＝岡本紀義◆悠歩塾＝山口謙悟◆合気道心和会＝村上智昭、武田暖大、竹中渚紗、石田久実代◆小牧合気会＝石川麻尋◆大阪武育会＝鈴木睦久、藤田賀也、井芝悠貴、平松秀一◆吹泉館＝山本勘爾◆合気道金沢クラブ＝高橋裕之◆合気道楽々健身倶楽部＝池口晃、橋和宏◆武産合気たまも道場＝渡辺敬介◆A & P合気道平和塾＝鈴木淳史◆合気道無刀会＝杉谷雅俊◆合気道神楽塾＝丸山実名子、丸山開士◆伊丹市民合気道＝松本豊◆上毛合気会＝河村英輝◆合気道澄月会＝福井三賀子、松尾帆乃花◆長野至水会＝山崎亨、山口彩礼◆駒場学園高等学校＝松本知愛、橋本京治、新井麻也、青戸蒼来、古屋仁徠、浅井優莉奈、池田快理、鈴木奈央仁、北川和葵◆昭和第一学園高等学校＝相馬拓斗、五味怜奈、宮崎綾、小嶋あおい、池田月人、割田心陽、安東伸子、芝清香◆武蔵高等学校中学校合気道部＝阿曾詢大、佐藤雄世◆明德義塾高等学校合気道部＝曹意翔◆お茶の水女子大学＝秋本真穂◆関西学院大学体育会合気道部＝宇野衣愛、後藤愛江、吉田悠人、松岡朋生、西本蒼、永井晶大、田中陽規、石井英登◆京都教育大学＝村岡春音◆神戸大学体育会合気道部＝山口瑞月、明田晴菜、井上里菜、古川優、久保愁斗、是安慶司朗、小森麻美結、高橋蓮、中堀和奏、乗竹夏子、野中涼資、廣田篤史、堀友紀菜、矢野由佳、堀内洋介◆青山学院大学＝村上晋乃介◆大

阪教育大学＝川上紀美◆大阪公立大学女子合気道部＝大鋸桃◆大阪大学体育会合気道部＝山田昂輝、野呂泰生、山田実侑、山本柚葉、極原真、中山ゆりの、森部皓貴、藤井一、プランデル葉奈◆東京理科大学神楽坂＝冨山裕仁◆桃山学院大学＝沼澤楓真、野尻康晴、氏家諒太郎、河野通齊、柴田希望、妙中奏大、田中我空◆筑波大学＝沼田大治◆CHILE＝C.Cristi, V.Fedotov, O.Soto◆GERMANY＝N.Lang, U.Ritter, M.Weisser, J.Rosenfeld, R.Neuhaus, L.Nagy, S.Jahr, M.Rohde, I.Behnke, A.Khanina◆SPAIN＝C.Leal, P.Sebastian, A.Pena, E.Garcia, F.Blanco, J.Sanchez, N.Pita, S.Cortes, F.Alarcon, J.Casais, J.Nadal◆SERBIA＝V.Jerotic◆ITALY＝R.Balestrero, S.Varesano, F.Varesano, D.Lorenzetto, D.Mariotti, A.Miranda, G.Santini, M.Palmisano, M.Rollo, G.Vacci, K.Krzyszowski, T.Gagliardini, J.Manalo◆PORTUGAL＝N.Paiva, A.Fica, H.Santos, C.Neto, F.Cabral◆SWEDEN＝H.Neerings◆BULGARIA＝B.Seizov, C.Manolov, D.Takeva, E.Georgieva, N.Tchilingirian, O.Tonchev, P.Vasilev, V.Stanisheva, R.Fichero, P.Malev, V.Todorov, V.Hrusafova, V.Trendafilova, K.Dimitrov, S.Karanfilova◆U.S.A.＝J.Borella, E.Brown, B.Davis, R.Davis, L.Dayem, K.Evans, S.Mohanty, K.Marquez, S.Hughes, M.Hall, M.Abts, K.Mccammon, M.Molina, B.Kingsbury, A.Kementsietsidis◆FRANCE＝M.Pageaud, C.Bourgeois◆NETHERLANDS＝A.Dalen, E.Pieren, J.Wauben, M.Vreeze, M.Rood, P.Lammeren, A.Loosdrecht, R.Wahle, A.Oosterom, D.Rijnders◆MYANMAR＝A.Zaw, Z.Moe, M.Pho, E.Myo◆TURKEY＝E.Shikhinskiy, A.Rudenia◆AUSTRALIA＝X.Lu◆BRAZIL＝A.Nobrega, C.Fernandes, D.Cunha, F.Cavalcanti, F.Filho, G.Paiva, G.Lima, I.Santana, J.Venutto, M.Agutini, M.Acharan, W.Medeiros, S.Tome, D.Kamiya, H.Hacomar, A.Coelho, A.Rocha, C.Pereira◆CANADA＝J.Escobar, C.Richard, G.Dube◆中華民国台湾＝陳琇銘、何忠憲、何忠翰◆RUSSIA＝M.Gavdis, I.Zyryanov, E.Zakharinskii, A.Charnenka, V.Krapivina, A.Avdeenko, N.Dmitriev, A.Ibragimova, D.Khramenkov, D.Mukhin, V.Petrov, G.Potapov, A.Sotnik, N.Razguliaeva, E.Shutov, M.Stepanenko, S.Kazyonov◆GREECE＝N.Georgosopoulou◆VIETNAM＝N.Vo, V.Nguyen, A.Dinh, T.Tran, D.Loi, A.Tran, H.Pham, T.Ho◆KYRGYZTAN＝E.Dzhailoeva, N.Choibunbekov, A.Alieva, A.Alybaeva, M.Mukashov, A.Sadabaeva, B.Akmatov◆COLOMBIA＝D.Otero, L.Lopez, L.Gallego, L.Soto◆URUGUAY＝R.Rijo◆CZECH＝O.Nemecek, P.Vitko, J.Erben, M.Novy, R.Kourek, P.Verner, V.Zhurba◆FRANCE＝A.Vidal, A.Vidal◆POLAND＝P.Budny◆INDIA＝P.Chidambaram◆U.K.＝G.Williams◆ARGENTINA＝G.Busso, M.Rodriguez, B.Ruiz, S.Montenegro, K.Aguirre, C.Argomedo, G.Camilatti, P.Crivelli, A.Vedova, G.Frickx, J.Godoy, J.Harguindeguy, G.Leroux, M.Moreno, M.Ortiz, Z.Passone, A.Leanza, A.Lovaglio, B.Catania, C.Caruzo, D.Ortuno, D.Bragil, J.Perez, V.Gilardi, N.Orazi, G.Berti, S.Pepper, E.Inzaurraga, D.Hurtado, D.Perrone, L.Pelliza, D.Sammarruco, R.Sosa, W.Spadaro, C.Lillio, J.Lopez, G.Tello◆PERU＝J.Gafarot◆POLAND＝M.Swiderek◆DENMARK＝M.Jenkov, A.Schneider, M.Rasmussen, D.Christophersen, B.Kirkeby◆UKRAINE＝M.Artemchuk, M.Poberezhnyi, O.Chernovol, I.Pereviznyk, S.Grabovskiy, O.Svarchevskiy◆SLOVAKIA＝T.Csonka